



栃木県立足利南高等学校 令和3年度 総合学科通信 第2号

No. 60
(2021/12/22 発行)

一日体験学習

教 頭 針谷 勉



昨年度はホームページ上に Web 一日体験学習のページを掲載することによる実施でしたが、今年度は実際に本校に足を運んでもらい、7月30日に一日体験学習を実施しました。今年度も猛暑が予想されたため、冷房のある教室で実施しました。当日は、足利・佐野を中心とした34校から、中学生449名、保護者293名に参加していただきました。

全体会は新型コロナウイルス感染症対策のため、学校紹介DVDを放映しました。30分程度の短いものでしたが、本校が持つ総合学科、単位制という最大の特徴をはじめ、教育課程や進路状況の説明、国際理解教育の推進、部活動や学校行事、総合学科発表会について紹介することができました。その後、希望した中学生には英会話、化学実験、陶器作り、グミ作り、プログラミングなどの体験授業を受けていただきました。

中学生のアンケートには、学校・学科の教育上の特色や内容が「よく・だいたい理解できた」：99.6%、この一日体験学習が「大変参考になった」：90.9%という評価をもらいました。在校生達が、それぞれの立場で立派に行動したことが、中学生に好印象を与えたようです。



国際理解 LHR

国際理解教育係 小倉 麗華

11月1日、全校生徒を対象に国際理解講演会が実施されました。今年度は、JICA栃木デスクの熊倉百合子様に『SDGsはみんなの課題～青年海外協力隊の活動から考える～』という演題でお話しいただきました。



講演会では、青年海外協力隊の活動や滞在されたインドネシアについて紹介していただきました。本校は東京インドネシア共和国学校と交流があるため、相手校の国の文化を知る貴重な機会になりました。

もう一つのテーマである「SDGs」は、より良い世界を目指すための国際目標です。講演の中で、熊倉先生は「どこにいてもできることがある」と仰っていました。地球が誰にとっても住みやすい場所になるよう、私たちにできることを周りの人と考えるきっかけになれば嬉しく思います。

マラソン大会

体育科 須田 俊幸

11月5日(金)第3回足利南高校マラソン大会が開催されました。新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度同様、コースの変更をしたり手指消毒をしたりと感染症対策を十分に取りながら実施しました。持久走の授業の成果を存分に発揮し、出走生徒416名全員が無事に完走することができました。ゴール時には多くの生徒の明るい笑顔が見られ、一人ひとりがそれぞれに達成感や充実感を味わったことと思います。

【個人成績】

男子				女子			
完走者数：108名				完走者数：308名			
順位	クラス	氏名	記録	順位	クラス	氏名	記録
1	2-4	小此木 凱晟	0:41:22	1	2-4	安田 麗奈	0:49:30
2	1-1	町田 倭人	0:41:47	2	1-4	小林 音桜	0:52:36
3	3-4	中嶋 大樹	0:45:05	3	2-3	田中 菜美	0:53:04
4	3-3	荒木 優翔	0:46:02	4	3-4	齊藤 紗加	0:53:16
5	1-2	長島 想空	0:47:11	5	2-1	太田 明日香	0:54:07
6	1-3	赤坂 瞳磨	0:47:16	6	2-4	安達 由姫	0:55:10
7	2-3	佐山 怜	0:47:49	7	2-3	田村 柚子	0:55:31
8	1-4	春山 琉輝	0:48:24	8	3-3	古郡 伊々奈	0:57:33
9	2-2	吉田 歩夢	0:49:03	9	2-3	川村 莉菜	0:57:37
10	2-1	篠原 大知	0:49:03	10	3-3	浅古 葉名	0:57:54

【団体成績】

総合順位	クラス
1位	2年3組
2位	1年4組
3位	1年2組



「頑張ったマラソン大会」

2年4組 安田 麗奈 (太城東中 出身)

マラソン大会当日は、晴天に恵まれ爽やかな秋空の下、全学年が一齐に走るマラソン大会が行われました。昨年度からコロナウイルスの影響でコースが短くなり11キロとなりましたが、短くなったといっても途中で階段や坂もあり、上がった下がり下がりするのでやはりきつく長く感じられました。昨年度は女バスの先輩たちの背中を追いかけて、必死に走っていたのを思い出しました。今回は、前の男子の集団について走り、そして自分に負けないという気持ちで走りきりました。緊急事態宣言の中で部活が出来なかった時期があり、その期間中にランニングを自主トレしていました。その成果もあり、今回のマラソン大会では1位を取ることが出来たのだと思います。目標であった1位と達成感を得られて、とても心に残る行事となりました。



青南祭

「2月から準備したビッグイベント」



特別活動部長 春日 幸市

青南祭は、昨年度のうちから準備を始めており、初めの案は、コロナに考慮した、凄くびくびくした計画でした。それは、①外部からの来校者なし。②生徒は偶数クラスと奇数クラスに分けて、半分はクラス催し物やフォーク部・演劇部・吹奏楽部のステージ発表見学。残り半分は事前収録した有志団体の発表を各クラス等で視聴。午前・午後で入れ替え。というものです。しかし、感染予防をしながら、もう少し通常実施に近いものであっても良いのではないかと意見があり、今年度に入った次の案では、①1家族2名までの一般公開。②生徒の各クラス催し物やステージ発表の見学には、密を避けながら制限なし。③食堂・喫茶は、外部商品の販売（加工なし、梱包なし）。④キッチンカーを呼ぶ。⑤生徒の飲食ス

ペースは第2体育館。カフェを企画したクラスは、飲食スペースを用意する。保護者の飲食スペースは用意できないので持ち帰りとする、というものに変更になりました。しかし、その後の会議で、感染と食中毒両方の恐れから、外部来校者はなしにした方が良いのではという意見が出て、小さな会議を何度も行いました。そして、最終的には、①生徒のみの校内発表。②キッチンカー・クラスで購入した飲食物は全て指定された時間・場所で飲食し、全ての生徒が何時にどこで飲食したか把握する。③フォーク部・演劇部・吹奏楽部・有志の全てのステージ発表をチケット制にし、観覧はイスに座って拍手のみとし、立ち上がったたり、大声での歓声があった場合は、活動を中止することとしました。

今は、劇的にコロナが収まってきていますが、青南祭の頃は、コロナの爆発感染がいつ起こってもおかしくない状況でした。そんな中で、生徒は感染対策のルールを自ら徹底して守ってくれました。そして、青南祭は成功しました。本当に感謝しています。青南祭後の足南生のコロナの爆発感染ありませんでした。また、クラス・各参加団体が一致団結し、交流を深めるねらいも達成され、生徒は感動体験をすることができたと思います。



「青南祭で行った生徒会活動」



生徒会 栗原 優真（足三中 出身）

私たち生徒会では、中庭への傘の設置や昇降口前へのミニ傘の設置、他にも階段の飾り付けなどを行いました。

私たちは青南祭前から、これらの準備を本格的に始め、青南祭前日に設置、飾り付けを行いました。この活動は正直とても大変でした。傘を分担して作り、中庭に設置するのは簡単そうで、難しい作業でした。ミニ傘も同じように分担して作り、昇降口前に設置することや、階段の飾り付けは骨の折れる作業でした。このような難しい作業になると小さなものではありませんが、揉めてしまうこともありましたが、揉めてしまうのはひとりひとりが青南祭について本気で考えていたからだと思います。そして、揉めてしまうこともありましたが、生徒会役員

全員が協力し合って、青南祭当日に間に合わせることができました。青南祭当日は快晴になることはなかったものの、中庭に設置した傘や、昇降口前に設置したミニ傘はやってよかったなと思えるほど綺麗にできました。他にも階段の飾り付けは階段を上るのをやめて見てしまうくらい素敵なものに仕上がりました。私は大変だったものの、この活動のおかげで青南祭はより一層楽しいものになったと確信しています。私はこの生徒会活動をやることができ、本当に良かったと思います。これからも青南祭に限らず生徒会として、行事がより良く、楽しくなるように頑張っていこうと思います。

芸術鑑賞会

芸術科 渡邊 瑠美

11月10日、足利市民プラザにて芸術鑑賞会が行われました。足利市では毎年、市内の高校に通う生徒が同じ作品を鑑賞しています。昨年度は新型コロナの影響で実施ができなかったため、2年ぶりの開催となりました。今年度は関西芸術座の『遙かなる甲子園』という演劇を鑑賞しました。ろう学校の高校球児たちが甲子園出場を目指すという実話に基づく内容で、手話に興味を持った生徒も多かったようです。鑑賞後の生徒からは、「耳に障害を持っていても夢を諦めず、ひたむきに練習に励んでいる姿に感動した。」「健常者に苦しめられている人が沢山居るのかもしれないと感じ、考えさせられた。」という感想が述べられました。生で演劇を観る良い機会となったようなので、身近な芸術文化にも関心を持ってもらいたいと思っています。来年度は音楽鑑賞の予定です。

活躍する足南生

～ウエイトリフティング部～

ウエイトリフティング部顧問 須田 俊幸



令和3年8月11日に福井県小浜市で開催された全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会（インターハイ）に出場しました。昨年度に女子がインターハイの正式種目になりましたが、コロナのため中止となってしまう、今年度が初めての開催となる記念すべき大会でした。選手が出場した階級は、ミライモンスターで取り上げられるほど激戦の階級ではありましたが、3年間の練習の成果を十分に発揮できた試合となりました。今まで応援くださった多くの方々に厚く御礼申し上げます。

総合学科発表会に向けて

総合学科係 森 紀子

今年度の総合学科発表会が令和4年1月15日に実施されます。今回も新型コロナの感染対策として、内容を一部縮小いたします。

午前の部の、産業社会と人間のライフプラン発表、総合探究Ⅰのミニ課題研究発表、総合探究Ⅱの課題研究発表は例年通りで、今年度はファッションショーも予定されています。ただ、午後の講座発表会のステージ発表は一般公開せず、事前に録画されたものを各クラスで視聴することになりました。作品展示は体育館にて行います。

一般の方や保護者の見学については、感染対策のため人数制限等を設けております。なお、今年度もYouTubeでのライブ配信を予定しておりますので、当日、本校ホームページでURLをご確認ください。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119（事務室）

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118（職員室）

http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagaminami/nc2/index.php?action=pages_view_main

